

あなたと博物館

松本市立博物館ニュース No.177 2011.11.1



松本市博物館の日

記念事業 学芸員の眼でみる資料の見方・楽しみ方講座 を実施しました

博物館で最も大切なモノは、収蔵・展示している資料です。博物館の学芸員は、資料を整理・展示する場合、どのような点に注目して観察し、意義を見出しているのでしょうか？この博物館資料を観察する際のポイントや意義を解説しました。



もくじ

トピックス ◇ 学芸員実習によせて	2
◇ 企画展「松本高等学校が輩出した建築家たち」紹介	3
ガイドコーナーはてんぼく	4

学芸員実習によせて

私が最初に博物館に興味を持ったきっかけは何だったか。幼いころに両親に連れられて訪れた、地元の市立博物館ではないかと思う。大きなゾウのジオラマ、沢山の動物の剥製、見たこともないくらい多くの星が浮かぶプラネタリウム。そこには私が知らない世界が広がっていた。博物館は、幼い私にとっては、さながら胸躍らせるテーマパークのようなものであった。幼いころから博物館に触れてきた私が、大学に入学し、学芸員資格取得を目指してきたことは当然の流れのようにも思える。その学芸員資格取得課程の集大成が、今回の博物館実習であった。8名の実習生と共に、松本市立博物館で7日間、時計博物館にて3日間の館別実習を行った。実習の主な内容は、松本市立博物館にて様々な講義、資料の扱い方の指導、展示解説、松本の七夕というイベントにてほうとうサービスの補助や、七夕人形作り指導、展示作業等。時計博物館にて、資料整理、監視業務、子供向け時計作り講座の補助等、多岐に渡った。この10日間の実習を通し、展示や解説、資料整理など学芸員の仕事の一端を垣間見ることができただけでなく、松本の七夕において、市民協働の現場に実際に関わることもでき、さらに七夕人形作り指導や展示解説等で、直に来館者と接することもできた。他にも書き尽くせないくらい多くの経験をさせていただき、学芸員という仕事は、ただ知識があればいいのではなく、コミュニケーション能力や体力、他にも多種多様な能力が求められるということを、身をもって体験することができた。

話は変わるが、私が旅行先で必ず足を運ぶ場所が二つある。スーパーと博物館である。スーパーではその地域の食や生活を感じ、博物館ではその土地の歴史を知ることができる。この二つほど、その土地のことを知ることができる場所はないだろう。博物館は、旅行者のためにも必要不可欠なものなのだ。その証拠に、実習中にも多くの観光客が来館された。その中でも特に記憶に残っている方々がいる。松本の七夕の日（8月7日）に来館された、アメリカから旅行中だというアメリカ人の家族と、彼らの友人である日本人の家族の一同である。その日はイベントの一環として、七夕人形作り講座が開催されていた。子供たちが人形を作っている間、暇を持て余していらしたお母様達に展示案内をした。松本独特の七夕について解説をしたところ、非常に熱心に聞いていただき、最後に

「こんな特別な日に、松本に来て、この博物館に見学に来て、しかもあなたがいてくれて本当によかった。滅多にできない経験ができた。すごく勉強になったし、楽しかった。子供にもいい思い出になったと思う。ありがとう。」と書いていただいた。私のつたない英語がきちんと通じたのかはわからないが、そう書いていただけたことが心からうれしかった。同時に、旅行先での予期せぬイベントや出会いが、旅の大きな思い出になるのだということを感じた。私自身旅行が趣味で、国内外あちこちの博物館や美術館で出会い、親切にしてくださいった方々のことを、いい思い出として今も強く覚えている。このように、博物館は学びの場であるだけでなく、出会いの場、思い出作りの場であると思うのだ。その人がその博物館を訪れるのは、一生で一度のことかもしれない。そのたった一度を、記憶に残るようなすばらしい時間にすることも、学芸員の仕事であろう。博物館を訪れた後、「あの博物館は楽しかった」と思い出していただけるような博物館を創り、「あの学芸員さんがいてくれてよかった」と思ってもらえるような学芸員を目指していきたい。

今回の実習でお世話になった、松本市立博物館の窪田館長、遠藤学芸員、松本市時計博物館の遠山館長、一ノ瀬学芸員、そして両館の職員の皆様に心からお礼を申し上げたい。立派な学芸員になることが皆様に対する最大のお礼であるだろう。次にお会いする際には、ぜひ学芸員という立場でお会いしたいと思っている。

（信州大学人文学部4年 / 木村由佳里）



展示解説の実習

企画展「松本高等学校が輩出した建築家たち」紹介

旧制松本高等学校は、大正8年(1919)の開校から、昭和25年(1950)に閉校するまでの31年間、約5000名の人材を世に送り出しました。今回はこのなかから、次の5人の建築家にスポットをあて、主要作品や自邸を写真・図面・著作などで紹介します。

松高時代に親しく交わった恩師、先輩、友人たち、そして揺りかごととなった城下町・松本の風土は、5氏の仕事と人生に、どのような影響を与えたのでしょうか。展示の中からくみ取っていただければ幸いです。

(旧制高等学校記念館 学芸員／臼井邦彦)

企画展「松本高等学校が輩出した建築家たち」

10月22日④～平成24年1月29日⑥

※順不同・敬称略



山本 智雄

昭和22年卒業 東京都人

全国30カ所あまりの空港ターミナルビル設計に参画された。旧鶴林堂ビル・松本空港ビルも氏の設計によるもの。

■主要作品 ◇新千歳空港ビル(写真) ほか



山口 泰治

昭和23年卒業
フランクフルト在住

世界的な大規模建築を手がけられたが、自然の中の小屋の設計が一番やりたかったとも。

■主要作品
◇宮城音弥博士の山荘(写真)
◇ドイツ銀行フランクフルト本店
◇関西空港計画案 ほか



松岡 秀直 (故人)

昭和23年病氣療養のため中退
安曇野市

地域の伝統的な建築デザインを生かした、住宅や商業施設などの設計に取り組まれた。

■主要作品
◇松本ホテル花月(増築工事：写真)
◇中央民芸ショールーム
◇上條記念病院 ほか



岩井 要 (故人)

昭和25年卒業
東京都

数多くの教会を設計され、氏の作品をまとめた写真集『天と地をつなぐ空間 教会堂』も出版されている。

■主要作品
◇銀座教会(写真)
◇富士見町教会
◇阿佐ヶ谷教会 ほか



目良 純

昭和24年卒業
東京都人

全国の駅ビル・地下街など交通関連の施設計画を中心に取り組まれた。

■主要作品
◇新宿東口駅ビル及び新宿駅東口地下駐車場(写真)
◇聖ベネディクト女子修道会東京分院 ほか

松本市立博物館から ☎0263-32-0133

特別展「松本城主水野家と菩提所玄向寺」

会 期 12月3日(土)～1月29日(日)
会 場 松本市立博物館2階展示室
観 覧 料 常設展観覧料

姉妹都市提携記念展

―藤沢市50周年・高山市40周年―

会 期 11月30日(水)まで
会 場 松本市立博物館1階ロビー

学都松本・博物館「学芸員松本モノ語り」

日 時 11月12日(土)
午後2時～午後3時30分
会 場 松本市立博物館2階講堂
語 り 手 澤柳秀利(山と自然博物館学芸員)
テ ー マ こんなにたくさんある松本の山城
受 講 料 無料

冬至かぼちゃサービス

日 時 12月22日(木)
午前10時30分～無くなり次第終了
会 場 博物館ロビー

松本民芸館から ☎0263-33-1569

講演会

「平和と手仕事 小林多津衛の生涯に学ぶ」

自由と個性の教育運動を展開した信州白樺派の中心的存在であった小林多津衛の生き方を通し、平和と民芸運動について語ります。

日 時 11月6日(日)
午後1時～午後3時
会 場 松本民芸館
講 師 吉川徹氏(多津衛民芸館長)
受 講 料 通常観覧料
(大人300円、中学生以下無料)

企画展

「ぬくもりと安らぎの民芸 玩具・人形展」

子の健やかな成長を願い、日々の生活の中にささやかな楽しみと豊かさを求めて作られた玩具や人形の数々を展示します。

会 期 12月13日(火)～2月26日(日)
会 場 松本民芸館
観 覧 料 大人300円、中学生以下は無料

歴史の里から ☎0263-47-4515

高機で裂き織り体験

日 時 11月12日(土)、12月4日(日)
午前10時～正午、午後1時～3時
定 員 午前、午後とも各6名
体 験 料 1,000円(18cm×22cmの布を織ります)
持 ち 物 裂き織りにしてみたい布
(お持ちでしたら)
申 込 み 歴史の里へ

時計博物館から ☎0263-36-0969

蓄音機で聴くSPレコードコンサート

日 時 11月3日(木・祝)
会 場 午後2時～午後3時
時計博物館企画展示室
参 加 料 無料(常設展観覧は有料)

体験講座「機械時計をつくろう!」

日 時 11月13日(日)
午後1時30分～午後2時30分
会 場 時計博物館3階企画展示室
対 象 小学校高学年の親子、または中学生
定 員 各回先着6組
受 講 料 1,500円(材料費)
持 ち 物 プラスドライバー
申 込 み 時計博物館へ

山と自然博物館から ☎0263-38-0012

講演会「昆虫コレクション」

日 時 11月19日(土)
午前10時～正午
会 場 山と自然博物館2階講座室
講 師 安田守氏
(元埼玉県自由の森学園教員)
対 象 小学生以上、一般
受 講 料 100円
定 員 40名
申 込 み 11月5日から申し込み受付
定員になり次第締め切り

窪田空穂記念館から ☎0263-48-3440

空穂生家将棋教室

日 時 11月26日(土)
[午前の部] 午前10時10分～正午
(小中学生)
[午後の部] 午後1時～4時
(大人、小中学生の大会)

会 場 窪田空穂生家
講 師 プロ棋士、日本将棋連盟会員
対 象 小中学生、大人
受 講 料 無料
申 込 み 当日までに窪田空穂記念館へ

空穂生家百人一首教室

日 時 11月19日(土)、12月3日(土)、17日(土)
1月14日(土)
午前10時～正午
会 場 窪田空穂生家
内 容 ちらし取り、競技かるた
対 象 小中学生
受 講 料 無料
申 込 み 当日までに窪田空穂記念館へ

重文馬場家住宅から ☎0263-85-5070

お茶席の会[第8回]

日 時 11月13日(日)
午前10時～正午
松風の会(表千家)
参 加 料 通常観覧料
(大人個人300円、中学生以下無料)

はた織り体験教室[第6回]

日 時 11月26日(土)
[午前のクラス] 10時～正午
[午後のクラス] 1時～3時
会 場 馬場家住宅門長屋
受 講 料 各講座1,000円(観覧料込み)
申 込 み 電話で馬場家住宅まで

布ぞうり作り体験教室[第3回]

日 時 11月26日(土)
午前10時～午後3時
会 場 馬場家住宅主屋
受 講 料 1,800円(観覧料込み)
申 込 み 電話で馬場家住宅まで

はかり資料館から ☎0263-36-1191

今昔はかり展

11月1日の計量記念日にちなみ、はかり資料館収蔵の珍しいはかり、懐かしいはかり、面白いはかりを展示します。

会 期 10月29日(土)～11月27日(日)
観 覧 料 通常観覧料
(大人200円、中学生以下無料)

*なお、11月3日(木・祝)は、無料開館となります。(当日は、松本まつりで中町通りは歩行者天国となります)

旧制高等学校記念館から ☎0263-35-6226

第100回 サロンあがたの森

「医療の進歩・普及と人間性」

[話題提供] 望月一郎氏(医師)

日 時 11月12日(土)
午後1時30分から
会 場 あがたの森文化会館 1-5室
受 講 料 無料(事前申込不要)

第101回 サロンあがたの森

「火縄銃と松本城」

[話題提供] 松村好雄氏(元松本市助役)

日 時 12月10日(土)
午後1時30分から
会 場 あがたの森文化会館 1-5室
受 講 料 無料(事前申込不要)

あとがき

200年ほど前の大都市・江戸では、冬季が本格的な観光シーズンでした。農閑期を利用した旅人や、出稼ぎで江戸を訪れる人が多かったためです。人気No.1の観光コースは、芝居や人形浄瑠璃を鑑賞し、越後屋などの有名店を訪ね歩くもので、今でも一般的なツアーです。これから寒くなる季節ですが、松本まるごと博物館では、まだまだ楽しい企画があります。博物館の各施設へぜひお出かけください。(Y.T)

あなたと博物館 No.177

発行年月日/平成23年11月1日 編集・発行/松本市立博物館
〒390-0873 松本市丸の内4番1号 Tel.0263-32-0133 URL: <http://www.matsu-haku.com>
e-mail: mcmuse@city.matsumoto.nagano.jp 印刷 川越印刷株式会社